

競 技 注 意 事 項

- 2022年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
- 感染症対策に関して
 - 競技中・ウォームアップ中以外は、マスクを着用すること。
 - 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でもご準備ください)
 - 集団での応援、声を出しての応援の禁止。(拍手での応援)
 - 体調チェック表の提出。(提出が無い場合は、出場できません)
 - ライブ配信あり。(陸協 HP 確認)
- 招集について
 - 招集時間

トラック 競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので裏表紙の競技時間表を参照のこと
フィールド競技	
 - 招集所は、第1ゲート(100mゴール側)外に設ける。
 - メイン競技場への入場は、**招集完了後各自(チーム)で移動する**こと。選手誘導はありません。招集後の入場について、特にトラックの横断には充分気をつけること。
【 競技エリアへの進入ゲートは以下の通り 】

トラック競技
フィールド競技

 - スタート地点のゲートより。[3000scは第4ゲート(100mスタート側)]
 - 投てき競技【第2ゲート(1500mスタート地点)】
 - 跳躍競技(走幅・走高・三段)【第4ゲート】 ・棒高【第2または第3ゲート】
 - リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受ける。(オーダー用紙はTICにある。)
 - 男女混合リレーは、招集時に専用ナンバーカードを貸与するので、胸・背に着用すること。レース終了後、係員に返却すること。
 - 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。
 - 電子機器類の競技場への持込を禁止する(携帯電話、ミュージックプレイヤー、スマートウォッチ等)。招集所で持ち物をチェックする。
- スパイクのピンは、全天候性走路のためトラックは9mm、フィールドは12mm以下のものを使用すること。
- 競技用シューズの靴底の厚さは、日本陸連競技規則(TR5)の通りとする。
- トラック競技はタイムレースとする。但し、100m・200m・300m・100mH・110mH・300mHは結果記録上位者による選抜レースを行う。フィールド競技はトップ8方式で行う。
- 800m以上の種目は招集所において、腰ナンバーカードを受け取り右腰斜め後方に着用すること。レース終了後、係員に返却すること。
3000m・5000m・10000m・3000mSC・5000mWは別途黄色の腰レーンナンバーカードを配布するので、左腰に着用のこと。
- 5000m競歩は、男女同時スタートとする。
 - 招集所において競歩用ビブスを貸与するので、胸・背に着用すること。レース終了後、係員に返却すること
- 1500m以上の長距離競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。
- トラック競技とフィールド競技を兼ねる選手は、トラック競技を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

11. バーの上げ方,計測ラインについて。(天候等により変更あり)

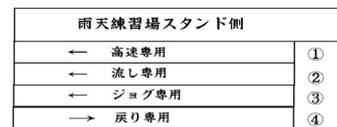
<走高跳>	(練習)	(開始)	
男子	[1.70 1.90 2.00]	1.75 1.80 1.85 1.90 1.95 2.00 2.03	(以後 3cm)
女子	[1.35 1.50]	1.40 1.45 1.50 1.55 1.58	(以後 3cm)
<棒高跳>	(練習)	(開始)	
男子	[3.80 4.30 4.70]	3.80 4.00	(以後 10cm)
女子	[2.00 2.80 3.30]	2.40 2.50	(以後 10cm)

<フィールド計測ライン> (天候により変更あり)

	男子	女子
走幅跳	6m40	4m90
三段跳	12m80	10m20
砲丸投	11m00(少年)	9m00
円盤投	30m00(少年)	25m00
ハンマー投	30m00(少年)	25m00
やり投	45m00	25m00

※上記以外は計測ラインを設けない。

12. 走幅跳・三段跳及び砲丸投のピットは、メインスタンド側よりA～Bとする。
三段跳の踏み切り板は、男子12m、女子10mとする。
グラウンドのレベルの表記は、第1曲走路側をAゾーン、第2曲走路側をBゾーンとする。
13. 投てきの練習は、メイン競技場内のみとし、競技場周辺や補助競技場での練習は厳禁とする。
14. 雨天練習場については下記を守ること。



オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

- スタンド側の1レーンは、高速専用とする。
- 2レーンは流し、3レーンはジョグ専用とする。
- 外側のレーンは戻り専用とする。
- オールウェザー部分上にチームのベンチを設置することを禁止する。
- 多目的グラウンド(旧補助競技場)側アスファルト通路部分はベンチとして使用を認める。

15. 競技エリアへは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。
16. 競技会での怪我は応急処置のみで、以後の責任はもたない。
17. その他
- メインスタンド1階は関係者(選手・役員)以外立ち入り禁止とする。
 - メインスタンド15列目より上を、チームベンチとして使用することができる。(ブルーシート使用禁止)
 - 横断幕は芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。(最前列は禁止)
 - 競技場・スタンド席とも汚さないように気をつけ、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰ること。
 - 更衣室の利用は、TICでIDカードを受け取り利用すること。
 - 貴重品等、持ち物の保管は各自で責任を持つこと。
 - 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト近く及び外周を通り退場すること。
 - 防水塗装保護のため、2階コンコースへベンチを設置する場合は粘着テープの使用は禁止する。
また、スタンド入口側(トイレ側)は通路として使用するので、ベンチの設置は禁止する。
 - 芝生席でのタープテント等の簡易テントの設置は可とするが、確実に固定すること。
 - 第二競技場(補助競技場)内でのチームベンチの設置は禁止する。